15　外科的救急処置のポイント

③　胸部・腹部のけがの基本フローチャート

胸部・腹部打撲

緊急

問　診	検　査
①いつ ②どこで ③どんなに ④どうして ⑤受傷の様子 ⑥受傷後の様子 ⑦その他の兆候	⑧視診（出血・顔色・表情・姿勢・皮膚の状態） ・呼吸困難の有無 ・打撲部陥没の有無 ・腹部膨隆の有無 ⑨触診 ・骨折線の痛み ・腹膜刺激症状 ⑩検査（検温・脈拍・血圧・尿）

判断	緊　急	重　度		中　等　度		軽　度
	・変形あり ・ショック症状	・激痛（続く） ・腫脹（ひどい） ・圧痛（強） ・機能障害（高度） （立てない 動かせない 歩けない等）	経過観察 20～30分	・変形（なし） ・腫脹（軽） ・痛み（少） ・機能障害（軽）	経過観察 20～30分	・痛み （薄らいでいく） ・皮下出血（なし） ・腫脹（なし） ・機能上の問題 （なし）
	即医師受診	医師受診		経過観察後 医師受診		学校の 処置のみ

学校での処置				
	胸　・ベッドに横臥（頭高位） ・止血 ・体：保温 腹　・ベッドに横臥（膝は高く） ・痛みのほうを下 （側臥位・膝屈曲） ・頭：低めに保つ ・体：保温	胸・頭と肩を高く （半起座位） ・衣服をゆるめ、 楽にする 腹・ベッドに横臥 （膝は高く）	胸　・打撲部に冷湿布 腹　・ベッドに横臥（膝は高く）	胸　・打撲部に冷湿布 腹　・教室復帰後も１～２時間 は継続 （観察）

事後処置	
	連絡：担任・保護者・校長・学校医に状況説明 記録：場所・時間・状況・原因・処置など記録 日本スポーツ振興センターへの手続き 予防：環境整備・危険予防